

ふるさと札幌の未来を考えよう

2年 社会科 地理的分野

I 実践の目指しているもの

現在、地理的分野では北海道地方と身近な地域を学習する時間が設定されている。しかし、身近な地域の学習は地形図を使った地域の変遷やフィールドワークが中心であるため、これまで札幌という街全体について地理的な視点で学習してはいなかった。本実践は、低迷する北海道経済や過疎地域の現状に対応するためには、まず北海道の中心である札幌の活性化が必要であるという視点に立ち、北海道地方の単元の一貫として「ふるさと札幌」を扱う授業を構成した。生徒に聞くと、札幌は「住みやすい街」とは答えるが、なぜ住みやすいのか、どんな魅力があるのかについて具体的に自覚できていない。本授業を通して、生徒に札幌の魅力と課題を再認識させ、今後より魅力ある札幌をつくっていくという自覚を育てていきたいと考えた。

II 研究の内容

1 題材名（単元名）

日本の諸地域～北海道地方～（ア）自然環境を中核とした考察

2 題材の目標（単元の目標）

地域の地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業などと関連付け、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える。

3 単元の構成（本時6/7）

	単元名	課題	目標
1	自然改変の歴史をもつ地域	北海道の特色を示す地域的事象を見いだす。	<ul style="list-style-type: none"> 面積、人口、人口密度、気温などの基礎的データを比較して、北海道の特徴を捉える。 元はアイヌの土地であったが、開拓・開発を進めてつくりあげた土地が北海道であることを理解する。
		（北海道は）冷涼で、土地が広く、開発の歴史は浅い。また、多くの自然が残されている。人々はこうした厳しい自然環境をどのように活かしているのだろうか？	
2	日本の食糧基地として	冷涼な気候で、広大な土地がある北海道では、どのような農業や漁業が行われているのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> 様々な統計資料から北海道の農業や漁業にはどのような特徴があるかとらえる。 北海道ではなぜ地域ごとに農業分布が違うのか、雨温図を参考に考察する。 札幌市豊平川サケ科学館で行われているサケの放流事業を事例に、これからの漁業の在り方を考察する。
3	北の大地に育つ工業	北海道では、豊かな資源（農産物、水産物）をどのように工業につなげているのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> 開拓使麦酒醸造所や雪印乳業のマークから、現地の資源を活かした工業が行われている特徴を捉える。 大消費地東京からは遠い立地をどのような克服しているのか、牛乳やてんさいを例に考察する。 北海道の工業の特徴を理解する。
4	夕張から学ぶ北海道の観光産業	北海道の豊かな自然をどのように観光につなげているのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> 北海道のお土産ランキングの資料から、北海道の観光が農業と結びついていることを捉える。 夕張を事例として、急速な高齢化や人口減少に対応する過疎地域の観光の在り方を考える。 アジアで人気となっている北海道物産展や北海道ツアーの様子を映像から理解する。
5	ふるさと札幌の魅力を探ろう	北海道の中での札幌の役割を考えよう。また、札幌の魅力を見よう。	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の人口分布図から、北海道内では札幌に人口が集中している状況を捉える。 北海道の未来を考えていく上で、札幌の重要性を理解する。 札幌の観光スポットや自慢できる場所など、魅力をグループで交流する。

6	ふるさと札幌の未来を考えよう	10年後の札幌をより魅力ある町にするにはどうしたらよいだろう？	<ul style="list-style-type: none"> 他の都市との比較から札幌の魅力を理解する。 資料を読み取り、将来の札幌の課題を理解する。 「10年後の札幌をより魅力ある町にするにはどうしたら良いか」をグループで考え、表現する。
7	北海道地方をまとめよう	これまでの授業を振り返り、北海道地方の特色をまとめよう。	<ul style="list-style-type: none"> 人々は北海道の自然環境を暮らしや産業にどのように活かしているか、考察する。 学習内容を振り返り、日本全体における北海道地方の特色（役割）や札幌の特色（役割）を考察する。

4 本時の展開

	生徒の活動	教師の活動
課題の把握	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 札幌の魅力は何だろう？また将来の札幌の課題は何だろう？ </div>	
	<p>○実際に札幌に住んでいる私たちの実感から、札幌の魅力を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏涼しい、都会と自然が適度に共存している。 <p>○魅力度ランキングを示し、なぜ観光客（北海道以外の人）からみて札幌に魅力があるのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道産の食材を使った食、祭り・イベント（雪祭りなど）、北海道観光の拠点としての札幌。 <p>○将来の札幌が抱える問題について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 増加を続けてきた札幌市の人口が2015年をピークに減少する。 働き盛り世代が減り、札幌市全体の儲けが減っていく。 人口が減らないための方策を考える。 	<p>○前時の活動「札幌の自慢できること」を振り返らせる。</p> <p>○札幌の課題は、</p> <p>①子どもが将来も札幌に残りたいと思えるまちか？</p> <p>②産業・活力のあるまちか？の2つの視点でまとめる。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 10年後の札幌をより魅力ある町にするにはどうしたらよいだろう。 </div> <p style="text-align: center;">（生徒の発表例）</p>	
	<p>○北海道グルメコンテスト大作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> さらに食べ物に力を入れるため、B級グルメを作り、全国規模のイベントを開く。 北海道各地の新鮮な農産物、水産物など自慢できる食べ物を集める。 <p>○札幌美化計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 街路樹や歩道わきの花壇をもっとはなやかに！ 空気をキレイにするため、街に緑を増やす。 <p>○札幌に人を集め隊！</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌で冬のオリンピックを開く。 外国人観光客に来てもらえるように、みそラーメンをアピールするなど観光業をさかんにする。 <p>○札幌はすごいんだぜープロジェクト！</p> <ul style="list-style-type: none"> 森の中にアミューズメントパークを作り自然を楽しめるようにする。 ウィンタースポーツを広める。札幌発祥の新しい冬のスポーツをつくる。 せっかく雪が降るから子どもに雪を活かした自然体験の場を増やす。 	<p>○プロジェクト名とその内容を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道の豊かな「自然環境」など魅力をさらに活かすことをできるだけ意識させる。 札幌の将来の課題を意識して、理想のまちにどうやったら近づけるかを考えさせる。
まとめ	<p>○班ごとに発表する。発表を聞き、自分の班と同じアイデアや違いを共有する。</p> <p>○発表を通して、札幌・北海道が今後発展していくための方策の方向性を整理していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめと講評を行う。 より魅力ある札幌を築いていく一員になって欲しいという願いを伝える。

4 本時の評価

- ・ 資料を読み取り、札幌の魅力と課題を理解することができたか。(知識・理解)
- ・ 10年後の札幌をより魅力ある町にするにはどうしたらよいか、これまでの学習事項や資料を参考に考察することができたか。(思考・判断・表現)
- ・ 一人の市民としてまちづくりを支えていく心構えをつくることができたか。(関心・意欲・態度)

5 実践のポイント

授業を終えて、参観された先生方から次のようなご指摘をいただいた。

- ① 生徒にとって、「10年後の札幌を考えたい」と思える動機付けが不十分ではないか。将来の札幌が抱える課題に、生徒の中で危機感を持たせるような働きかけがほしい。
- ② 単元を貫く課題が「人々は北海道の厳しい自然環境をどのように活かしているのだろうか？」であるから、生徒が考える視点を「自然環境」に関わる内容に限定するべきではないか。
- ③ 本時の中心課題である「10年後の札幌をより魅力ある町にするにはどうしたらよいか」について、もっと時間をかけたほうがよいのではないか。
- ④ 学習内容が漠然としている。生徒の発表の際にもっと具体例を引き出したり、教師が具体例を提示していくべきだ。

これらの指摘を受け、本指導案では次のような改善を行っている。

- ① 将来の札幌が抱える課題に危機感をもたせるため、授業の導入で夕張の現状を振り返らせる。
- ② 札幌の魅力については、前時に学習を終わらせる。課題の把握にかける時間を短くする。
- ③ 生徒が考えたプロジェクト名と内容について、教師が評価したり、より具体的な例を引き出す時間を設定する。

6 実践のためのワークシート、資料

2

地域ブランド調査の魅力度ランキング

	1位	2位	3位
平成18年	札幌市	神戸市	函館市
平成19年	札幌市	京都市	横浜市
平成20年	札幌市	函館市	京都市
平成21年	函館市	札幌市	京都市
平成22年	札幌市	函館市	京都市

資料：地域ブランド調査(株)ブランド総合研究所

3

観光客から見た札幌のイメージ (平成25年度)



